

# SSBD:repository

## Q & A

### ■メタデータの記載内容について■

#### Q データの責任者（Contact）には誰を記載すればよいですか？

データに関して問い合わせ可能な方をご指定ください。関連論文のCorresponding Authorと同一である必要はないと考えています

#### Q データの提供者・貢献者（Contributor）には誰を記載すればよいですか？

Image Contributor には実際に画像データを撮影された方をご指定ください。  
Quantitative Data Contributorには実際に画像データの解析を行った方をご指定ください。  
そのようなスタッフの名誉となって欲しいこと、詳しい内容について問い合わせるべき方を明示すべきだと考えています。  
スタッフが転出予定、転出済みの場合は、データを取得した時点の所属をご指定ください。

### ■登録するデータについて■

#### Q ファイル名やフォルダ構造にルールはありますか？

特にありません。多くの方は論文の図表番号ごと（Figure1/, Figure2/, Supplement1/ など）のフォルダに分割されているようです。

#### Q 顕微鏡のオリジナルデータの参照には専用ソフトが必要です。登録のためにTIFFなどに変換する必要はありますか？

SSBDでは、顕微鏡データ管理システムOMEROを利用しています。OMEROはBio-Formatsで読み取り可能なフォーマットについては専用ソフトなしでプレビュー等が可能です。  
Bio-Formats が対応していないフォーマットに関しては、TIFF等もあわせて公開いただきたいです。  
散乱顕微鏡（ラマン分光顕微鏡など）は、数値データとともに可視化例もあわせて公開いただきたいです。

#### Q 関連データとして、ゲノムシーケンスデータや、タンパク質の構造データ、解析用のスクリプトなども共有したいのですが問題がありますか？

SSBD:repositoryでは関連データの共有も受け入れていまして問題ありません。生命科学に関するデータや、ソフトウェアのソースコードなどについては、より適切なデータベース（DDBJやPDBjなど）や、公共レポジトリ（GitHubなど）がありますので、そちらと併せてご利用ください。

**Q 画像データの著作権について、出版社からとがめられることはありませんか？**

画像データそのもの、特にオリジナルデータには出版社による著作権（財産権）は及ばないと考えています。なお、著作権（財産権）の対象となる論文そのもの、編集・レイアウトされ論文誌に掲載された図は共有しません

**Q 画像データの著作権や公開の可否について、SSBDから出版社に確認してもらえますか？**

データの著作権や公開の可否について、出版社と個別の交渉や合意形成の代行などは行っておりません。

## ■登録について■

**Q 論文をすぐに投稿する必要があります / 査読のためにデータをすぐ公開する必要があります。すぐに対応が可能ですか？**

SSBD:repositoryでは、お急ぎの場合、登録いただいてから1営業日でプロジェクトページの公開とDOIの発行をおこなっております。実際のデータの公開は、データの転送速度によります。

**Q 採択されるまでは査読者のみが確認できるようにしてほしいです。**

まずはSSBDのデータ一覧や検索システムでは表示されない状態として公開しています。データそのものは非公開とし、プロジェクトページのみ公開したいという要望にも対応しております。

**Q 投稿前の論文やプレプリントのデータを公開できますか？**

論文投稿前あるいはbioRxivなどでのプレプリントのデータの公開も受け付けています。DOIを発行しておりますので、"Data availability" セクションなどでデータの所在や公開を明確にできます。SSBDのデータ一覧への掲載や検索システムからのアクセス時期についてもご相談ください。

**Q 公開データは論文データに紐付いている必要はありますか？**

必ずしも論文と紐付いている必要はありません。



**公開データはどのような仕組みで再利用されるのでしょうか？ 悪用されませんか？**

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（CCライセンス）を明示しています。例えば、CC BYでは再利用した場合には、データの著作者などのクレジットの表示が必要です。



**アクセプト後に公開日を変更することも可能でしょうか？**

はい、可能です。具体的な公開日が分かりましたらお知らせいただければと思います。

## ■ その他 ■



**出版社から他レポジトリの利用を推奨されました。 / すでに他のレポジトリでデータを公開しています。**

SSBDおよびバイオイメージに特化したレポジトリ・データベースでは、生物系・顕微鏡などのメタデータを提供しており、検索や再利用により向いています。

他のレポジトリと併せてご利用ください。



**欧州 BioImage Archive の利用をすすめられました。**

SSBDと欧州 BioImage Archiveは、foundingGIDE (<https://founding-gide.eurobioimaging.eu>) プロジェクトを通じて連携しており、将来的には共通の受付番号（Accession Number）の提供や共通の検索システムの提供などを計画しています。どちらを利用いただいても問題ございません。

SSBDは日本の研究者向けに、登録作業を日本語にて受け付けています



**SSBDは公共レポジトリとして認められているのか？**

日本生物物理学会が発行する英文誌 *"Biophysics and Physicobiology / BPPB"* にて推奨レポジトリとして明記されています。国内・海外の出版社等とも少しずつ交渉をしておりますが、推奨リストの更新に慎重な印象を受けています。



**科研費 実績報告書「15.データ管理者」の書き方を教えてください。**

- ・データ管理機関: 国立研究開発法人 理化学研究所
- ・データ管理部署: 生命機能科学研究センター 発生动態研究チーム
- ・データ管理部署の連絡先メールアドレス: [ssbd-repos@ml.riken.jp](mailto:ssbd-repos@ml.riken.jp)